

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています
広報広聴課 ☎51-0123 内線2822へご連絡ください

市長への手紙から

平成九年度は四百通を超す

「市長への手紙」が寄せられました

市では、市民の皆さんからのさまざまな意見や提言を聞き、市政に反映させるために「市長への手紙」制度を設けています。今回は、平成九年度に、寄せられた「市長への手紙」をまとめました。

「市長への手紙」制度は、広く市民の皆さんから「生の声」を聞く広聴業務の一環として、昭和四十九年から導入され、昨年までに六千五百通以上の意見や提言などが寄せられました。また、昭和五十四年から、はがきを年一回三地区（吉原・富士・鷹岡）に分けて広報ふじに折り込んで全戸配布しています。そのほかに、公民館などの公共施設にもはがきを置くなど、市民サービスとして欠かすことのできない制度となっています。

「年々ふえ続ける

受け付け件数」

ここ数年、「市長への手紙」として受け付けされた件数は増加しています。平成九年度に寄せられた手紙は四百九通ありました。その内容は、公園の整備に関するものが多く、次に道路や歩道の整備、職員の接遇や同報無線に関する要望事項が多く



寄せられています。また、寄せられた手紙の内容について、実現もしくは実現可能な内容が五十二通、また今後調査検討する項目が二十八通となり、皆さんの意見や提言が直接市政に反映されています。

これからも充実した制度の運営に力を入れ、なお一層皆さんの声を市政に生かしていきます。※このコーナーでは、多く寄せられた要望などを紹介していきます。

○要望の多かった内容ベスト5

順位	内容	件数
1	公園整備	17
2	道路整備	14
3	歩道整備	12
4	職員の接遇	10
	同報無線	10

○市長への手紙の処理状況

実現・実現可能	調査検討	参考・その他	計
52	28	329	409

初夏の風物詩・蛍を守る 富士ほたる愛好会

ズーミングアップ

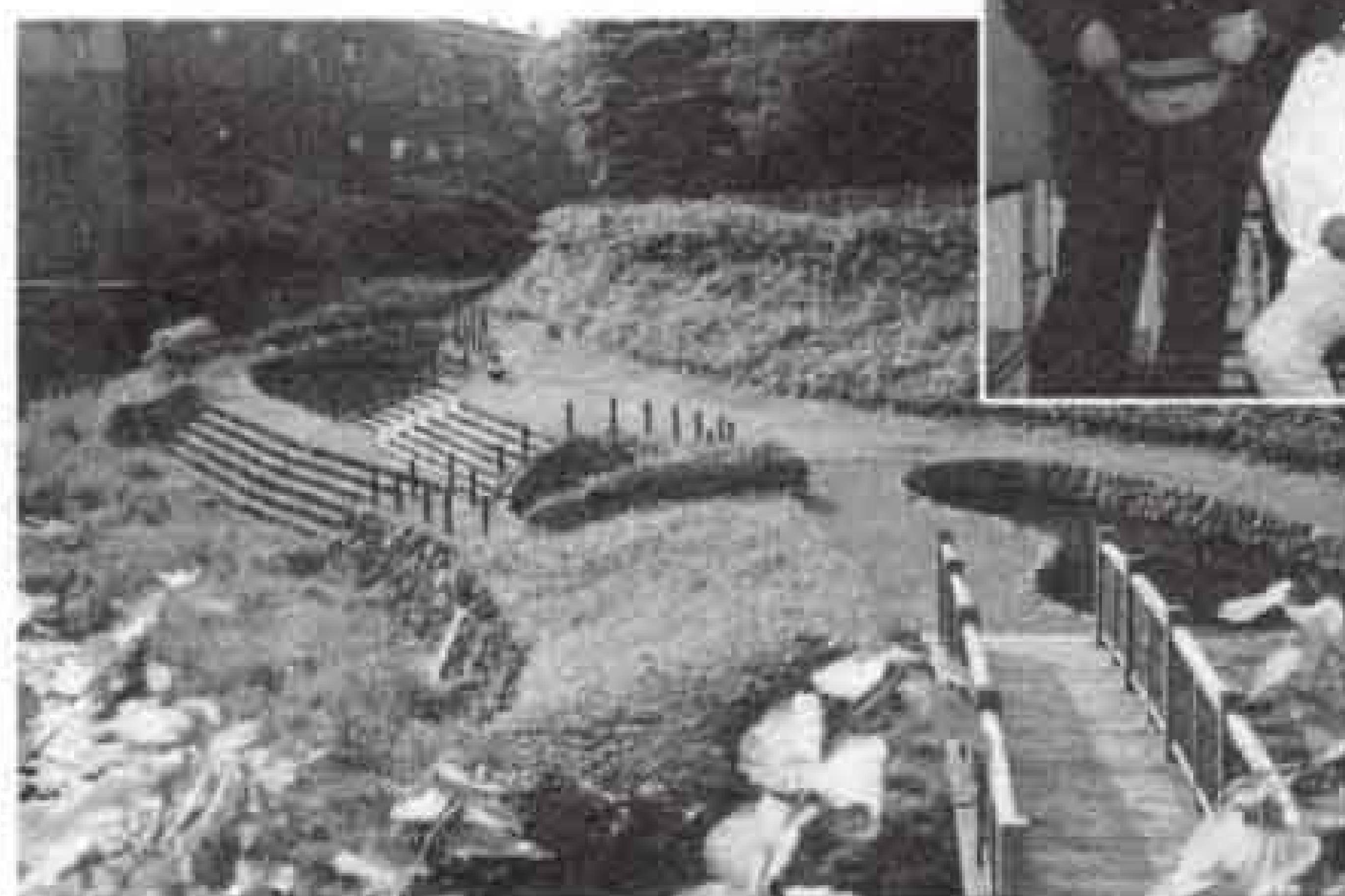
ふじ



市内には、蛍が見られる場所が何か所かあります。その中の代表的な場所である鑑ヶ淵親水公園（原田）を中心に、蛍の放流などの活動を行っているのが「富士ほたる愛好会」です。

生活排水の増加や河川の改修などが原因で減少してしまった蛍を再び呼び戻そうと、幼虫を飼育して放した結果、鑑ヶ淵親水公園では自然発生するほどになりました。会員の皆さんは「蛍の柔らかな光に魅せられてしまったと言っても過言ではありません。蛍の光には人間の心を和ませます不思議な力があります」と言います。

蛍は成虫になると二週間ぐらいで死んでしまいます。そのほんの短い間だけ、私たちの目を楽しませてくれるのです。「一時は数匹しか観察できなかった蛍が、鑑賞会を開けるほどふえたことは本当にうれしいことです。ことしの鑑ヶ淵親水公園では、五月中旬から蛍が姿をあらわし、六月中旬ごろまで



観察できるでしょう。異常気象のためか例年より早いですよ。時間帯としては夜七時三十分から八時三十分ぐらいがいいと思います。蛍を見たことがない人はもちろん、蛍に思い出がある人なども、ぜひ誘い合って足を運んでみてください。蛍の光は幻想的で、本当にきれいですよ」と話してくれました。